



平成29年10月5日

各位

会社名 株式会社ユニリタ  
 代表者名 代表取締役 北野 裕行  
 社長執行役員  
 (コード: 3800、東証ジャスダック市場)  
 問合せ先 取締役 執行役員 巳波 淳  
 グループ業務本部長  
 (TEL 03-5463-6384)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成29年5月9日に開示した平成30年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成30年3月期第2四半期 累計期間連結業績予想数値の修正  
 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,650	百万円 790	百万円 870	百万円 600	円 銭 71 38
今回修正予想(B)	3,300	560	640	435	51 75
増減額(B-A)	△350	△230	△230	△165	
増減率(%)	△9.6	△29.1	△26.4	△27.4	
(ご参考)前期連結実績 (平成29年3月期第2 四半期)	3,410	732	813	565	67 27

## 2. 修正の理由

当社グループでは、マーケットにおいてデジタル変革が進む現在、当社グループが持つITの専門性とお客様が持つ事業の専門性を掛け合わせ、「スモールスタート&クイックウィン」のアプローチにより、お客様の新しいビジネス構築を共創できる事業体制作りを推進しています。今期スタートした新経営体制の下、事業構造の変革を積極的に進めていますが、これには、クラウド化やアライアンス構築への対応に向け、これまでの販売先や販売方法、メーカーとしての製品開発の変革を伴います。

当社グループでは、現状この変革を進める過程で、期初の業績見通しとの乖離が下記理由により見込まれることになったため、今般、当第2四半期累計の連結業績予想につきまして、期初の予想を修正いたします。

- (1) プロダクト事業においては、前期にあった、自動化領域におけるコーポレートライセンス契約およびETL領域における製品販売の際の大型案件の受注に至らなかったこと。また、既存領域の製品販売では、製品のコモディティ化が進む中、付加価値向上施策として、これまでの製品単品販売からお客様が抱える課題解決のために、間接販売においてはパートナーとのモデル化、直接販売においては業務ソリューション化を推進しているものの、上期中の成果には至っていないこと。
- (2) ソリューション事業においては、既存の製品販売が伸び悩んだ影響を受け、製品の導入支援を行う「技術支援」の受注が取り込めなかったこと。また、「コンサルティング」では、BPM(ビジネス・プロセス・マネジメント)やデータマネジメントのコンサルティングにおいて、既存顧客を中心とした営業活動を通じ、前年同期にあったような大型案件の受注に至らなかったこと。

上記減収要因の影響を受け、利益面も計画比減益となるものです。

また、平成30年3月期通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）連結業績予想につきましては、現在精査中のため、平成30年3月期第2四半期累計期間の決算発表時（平成29年11月7日）にお知らせする予定です。

なお、平成30年3月期の配当予想（中間配当：1株当たり23円00銭、期末配当：1株当たり23円00銭、年間配当金：46円00銭）につきましては、変更ありません。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上